

事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

本市の水道事業は松本地区が大正12年9月に一部給水を開始して以降、合併地区の波田地区が昭和7年、梓川地区が昭和31年、四賀地区が昭和33年にそれぞれ事業を開始しました。現在、松本地区、四賀地区、梓川地区及び波田地区の4地区で水道事業を運営しています。

松本地区は、豊富で良質な地下水を水源としてきましたが、高度経済成長による急速な水需要拡大を見込み、昭和57年度から松塩水道用水の受水を開始し、将来にわたって良質で安全な水道水を安定して供給できる質の高い水運用が可能となりました。

水道施設整備においては、昭和52年から老朽化した配水管の改良を進め、平成26年度に第7次配水管改良事業が終了しました。平成25年度から松本地区の水道施設耐震化事業に着手し、配水地、水源地及び基幹管路の耐震化を行っています。さらに、市内災害対応病院等の重要給水施設への管路耐震化に着手しました。

また、水運用の中核である集中監視制御設備を平成21年度から中央監視制御システム・遠方監視制御設備更新事業として再整備を進めています。

平成28年度には、低炭素社会の実現に向けた、環境負荷の軽減に取り組むため、小水力発電の調査に着手し、平成30年度には松塩水道用水の本山浄水場からの高低差を利用した小水力発電設備を寿配水地に設置し、令和元年度から、発電を開始しています。

さらに、最新のデジタル技術を活用し、水道事業の効率化や合理化を図る「水道DX（デジタルトランスフォーメーション）」を推進するとともに、技術力を強化し、継承していくため、令和3年度にウェアラブルカメラやドローン（小型無人機）を導入し、活用を図りました。

事業経営にあたっては、第2期松本市水道ビジョン（令和3年度から令和12年度）や松本市水道事業経営戦略（平成29年度から令和8年度）、また、平成29年度に策定した松本市水道事業アセットマネジメントを推進し、安全でおいしい水を安定して供給できるよう、持続可能な水道事業の実現に向けて取り組んでいきます。

令和3年度決算は、給水収益の減、減価償却費等の増により営業損失を計上したものの、長期前受金戻入、企業債支払利息等を含めた当年度の損益は、前年度に続き黒字決算となりました。

しかし、人口減少等に伴う給水収益の減少に加え、現有施設の多くが一斉に更新時期を迎えつつあるなど、その財源確保が大きな課題となっています。今後は、広域連携などを盛り込んだ水道法の改正を踏まえつつ、松本市上下水道事業経営審議会における審議を通じて、経営基盤の強化に努めていきます。

なお、当年度の概況は次のとおりです。

ア 給水状況等

(ア) 普及率等

項目	令和3年度 (a)	令和2年度 (b)	増減数 (a) - (b) = (c)	増減率 (%) (c) / (b) × 100
行政区域内人口 (人)	236,345	237,484	1,139	0.5
給水人口 (人)	235,336	236,446	1,110	0.5
人口普及率 (%)	99.6	99.6	0.0	-
行政区域内戸数 (戸)	107,518	107,069	449	0.4
給水戸数 (戸)	107,047	106,593	454	0.4
戸数普及率 (%)	99.6	99.6	0.0	-

(イ) 給水量等

項 目	令和3年度 (a)	令和2年度 (b)	増減数 (a) - (b)=(c)	増減率 (%) (c)/(b) × 100
年間総給水量 (m ³)	29,023,270	29,873,425	850,155	2.8
日平均給水量 (m ³)	79,516	81,845	2,329	2.8
日最大給水量 (m ³)	85,692	89,463	3,771	4.2
年間総有収水量 (m ³)	25,402,162	25,558,768	156,606	0.6
日平均有収水量 (m ³)	69,595	70,024	429	0.6
有 収 率 (%)	87.5	85.6	1.9	-

イ 収益的収支の状況（消費税及び地方消費税を除く）

(ア) 水道事業収益

総額は、5,016,522,636円で、前年度比 46,117,293円(0.9%)の減収となりました。

減収の主なものは、給水収益の減14,352,586円 (0.3%)、長期前受金戻入の減18,023,519円 (3.2%)等です。

(イ) 水道事業費用

総額は、4,827,780,961円で、前年度比 20,002,373円(0.4%)の減額となりました。

減額の主なものは、総係費の減59,935,277円 (27.8%)、支払利息及び企業債取扱諸費の減17,113,849円 (12.1%) 等です。

(ウ) 当年度純利益と未処分利益剰余金の処分

以上の結果、当年度純利益は 188,741,675円で、前年度比26,114,920円 (12.2%) の減となりました。

また、前年度繰越利益剰余金379,426,883円に当年度純利益188,741,675円とその他未処分利益剰余金変動額434,182,528円を足した当年度未処分利益剰余金は、1,002,351,086円となりました。

この当年度未処分利益剰余金については、資本金へ434,182,528円を組入れ、建設改良積立金に220,000,000円を利益処分し、残る348,168,558円は未処分のまま翌年度へ繰り越す予定です。

ウ 資本的収支の状況（消費税及び地方消費税を含む）

(ア) 資本的収入

総額は、919,617,691円で、前年度比 15,096,262円(1.6%)の減収となりました。

減収の主なものは、国庫補助金の減16,373,000円 (83.6%)、工事負担金の減11,240,939円 (13.9%)等です。

(イ) 資本的支出

総額は、3,104,198,344円で、前年度比 303,302,071円(10.8%)の増額となりました。

増額の主なものは、改良費の増299,462,702円 (14.9%) 等です。

(ウ) 資本的収支不足額の補てん

この結果、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 2,184,580,653円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 197,630,171円、過年度分損益勘定留保資金 34,006,964円、当年度分損益勘定留保資金1,518,760,990円、減債積立金取崩額21,451,528円及び建設改良積立金取崩額412,731,000円で補てんしました。

エ 消費税及び地方消費税予定納付額

当年度予定納付額は、13,329,900円で内訳は次のとおりです。

項 目	合計額	内 訳		
		収益的収支	資本的収支	貯蔵品
	円	円	円	円
仮受消費税及び地方消費税(a)	419,596,859	419,593,023	3,836	0
仮払消費税及び地方消費税(b)	429,235,868	221,909,020	205,052,644	2,274,204
控除対象外仮払消費税 及び地方消費税(c)	22,968,909	15,550,272	7,418,637	0
予定納付税額 (a)-(b)-(c))	13,329,900			

オ 建設改良工事の状況

建設改良工事費の総額は、2,029,531,533円であり、対前年度比 181,605,433円増加しました。

工事の内容は次のとおりです。

主要な財源	工事の種類	工 事 費			
		令和3年度 (a)	令和2年度 (b)	増減額 (a)-(b)=(c)	増減率 (c)/(b)×100
		円	円	円	%
国庫補助金	老朽配水管改良工事	9,640,000	19,586,000	9,946,000	50.8
	小 計	9,640,000	19,586,000	9,946,000	50.8
企業債	老朽配水管改良工事	62,183,000	77,466,000	15,283,000	19.7
	配水施設耐震化工事	313,709,000	305,712,000	7,997,000	2.6
	送水・配水管耐震化工事	289,399,000	282,954,000	6,445,000	2.3
	小 計	665,291,000	666,132,000	841,000	0.1
自 己 資 金	施設設備及び送・配水管等新設工事	9,056,300	5,929,000	3,127,300	52.7
	道路・河川等関連配水管改良工事	157,885,233	145,459,600	12,425,633	8.5
	施設設備及び送・配水管等改良工事	1,170,862,000	994,614,500	176,247,500	17.7
	庁舎整備工事	16,797,000	16,205,000	592,000	3.7
	小 計	1,354,600,533	1,162,208,100	192,392,433	16.6
合 計		2,029,531,533	1,847,926,100	181,605,433	9.8

カ 事務事業の見直し

該当なし

(2) 経営指標に関する事項

令和3年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、総係費及び企業債取扱諸費の減少により、前年度比0.5ポイント減の103.9%となり、健全経営の水準とされる100%を上回っています。

また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は、前年度比0.8ポイント減の96.7%となり、事業に必要な費用を給水収益で賄える状況とされる100%を下回っています。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比0.7ポイント増の57.1%、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は前年度比1.1ポイント増の17.4%と施設の老朽化が進んでいるのに対して、当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は前年度比0.1ポイント減の0.2%に留まっています。これは、未だ更新需要のピークを迎えていないため、また大口径の基幹管路の更新を優先的に実施しているためです。将来の更新需要に備え、現在の経営状況を維持しつつ、引き続き計画的な施設更新を行ってまいります。

< 経営指標の推移 >

(%)

指 標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収支比率	110.1	107.3	105.4	104.4	103.9
流動比率	356.5	344.3	388.6	408.9	374.9
料金回収率	103.3	100.6	99.0	97.5	96.7
有形固定資産減価償却率	52.8	54.0	54.9	56.4	57.1
管路経年化率	11.0	12.2	13.7	16.3	17.4
管路更新率	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2

(3) 議会の議決事項

提出年月日	議決年月日	件 名	備考
R 3. 6.24	R 3. 6.24	松本市水道事業給水条例の一部を改正する条例	
R 3. 9. 6	R 3. 9.27	令和3年度松本市水道事業会計補正予算（第1号）	
	R 3.10.29	令和2年度松本市水道事業会計未処分利益剰余金の処分 令和2年度松本市公営企業会計決算の認定	
R 4. 2.22	R 4. 3.18	令和3年度松本市水道事業会計補正予算（第2号） 令和4年度松本市水道事業会計予算	

(注1) R3.6.7 令和2年度松本市水道事業会計予算繰越計算書（報告）

(4) 行政官庁許認可事項

申請年月日 変更申請年月日	申請先	件 名	許認可年月日 変更許可年月日
R 3. 5.14 R 4. 2. 4	長野県知事	令和3年度生活基盤施設耐震化等補助金交付申請	R 3. 9.30 R 4. 2.17

(5) 職員に関する事項

令和4年3月31日現在における上下水道局の職員数は、総勢118人（うち水道事業会計支弁70人、下水道事業会計支弁46人、一般会計支弁2人）で、前年度末と比較し、2名減となっています。

なお、当該年度末の職員数ならびに職員配置は、次のとおりです。

(単位：人)

職 層 職 職務職	参 事		主 幹		主 査			主 査 補	主 任	主 事	技 師	事 務 員	技 術 員	会 計 年 度 任 用	合 計	前 年 度 末 職 員 数	当 年 度 増 減
	局 長	課 長	課 長	課 長 補 佐	課 長 補 佐	係 長	主 査										
上 下 水 道 局	1	1	4	10	11	10	15	2	20	4	23	2	3	12	118	120	2
局 長	1														1	1	-
総 務 課 長		1		2		2			2	1		1		2	11	12	1
総 務 担 当		1													1	1	-
営 業 課 長				2	1	3	3	6	6	2		1		3	27	26	1
営 業 課 長			2												2	2	-
経 理 担 当						1	1	1	2					1	6	6	-
料 金 担 当							2	3	1			1		(1)	(1)	8	6
給 排 水 設 備 担 当				1	2			(1)	2	3	2			1	(1)	(1)	(1)
上 水 道 課 長			1	5	4	3	6	2	7		15		2	4	49	49	-
上 水 道 計 画 担 当			1							2			1	[1]	[1]	5	5
上 水 道 建 設 担 当				3		2	1		1		3		1	1	12	12	-
水 質 送 水 担 当					2	1	2		1		8			1	15	15	-
漏 水 防 止 担 当				1	2		3	2	3		4			1	16	16	-
下 水 道 課 長			1	2	4	2	3		5	1	8		1	3	30	32	2
下 水 道 課 長			1												1	1	-
施 設 計 画 担 当				1		1			1		1				4	4	-
管 路 担 当				1	1	1	1		1		3		1		9	11	2
宮 沢 浄 化 セ ン タ ー					1				1	1	2			2	7	7	-
両 島 浄 化 セ ン タ ー					1				1		1				3	3	-
水 質 担 当					1		2		1		1			1	6	6	-

(注1)【 】は石巻市派遣の一般会計支弁職員数、()は一般会計支弁職員数で、いずれも内数となっています。

(注2) []は育児休業職員の外数です。

会計支弁別内訳

(単位：人)

職 層 職	参 事		主 幹		主 査			主 査 補	主 任	主 事	技 師	事 務 員	技 術 員	会 計 年 度 任 用	合 計
	局 長	課 長	課 長	課 長 補 佐	課 長 補 佐	係 長	主 査								
水道事業会計支弁職員	1	1	1	6	6	5	9	2	12	2	15	1	2	7	70
損益勘定職員	1	1	1	3	6	2	6	2	10	2	12	1	1	7	55
資本勘定職員				3		3	3		2		3		1		15
下水道事業会計支弁職員			3	4	5	5	5		8	2	8	1	1	4	46
損益勘定職員			3	2	5	5	5		6	2	6	1	1	3	39
資本勘定職員				2					2		2			1	7
合 計	1	1	4	10	11	10	14	2	20	4	23	2	3	11	116

- (6) 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項
該当なし

2 工 事

(1) 改良工事の概況

ア 送水設備改良工事

(ア) 施設等改良工事

工事件数 3 件

工事費 240,064,000 円

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工	年月日	備 考
令和 3 年度 島内第 2 水源地機械設備 更 新 工 事	水源地機械設備更新 一式 ・送水ポンプ更新 ・電動弁更新 ・緩閉逆止弁更新 ・次亜塩素素注入設備更新	円 139,194,000	R 3. 6. 3		R3～R4 債務負担行為 全体工事費 228,734,000
令和 3 年度 島内第 2 水源地電気設備 更 新 工 事	水源地電気設備更新 一式 ・高圧受変電設備更新 ・動力盤類更新 ・現場盤更新	円 77,220,000	R 3. 6. 7		R3～R4 債務負担行為 全体工事費 143,000,000
令和 3 年度 神林第 2 水源地設備 改 良 工 事	水源地設備更新 一式 ・水中ポンプ更新 ・水中ポンプ盤更新 ・引込計器盤更新 ・井戸水位計更新	円 23,650,000	R 3. 5.25	R 3.11. 9	

(イ) 送水管耐震化工事

工事件数 2 件 舗装本復旧 1,748 m²

工事費 10,604,000 円

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工	年月日	備 考
令和 3 年度 低区配水地送水管改良に伴う 舗装本復旧その 2 工事	舗装本復旧 A= 1,695m ²	円 10,032,000	R 3. 8.26	R 4. 1.11	全体工事費 25,729,000
100万円未満工事 1件	舗装本復旧 A= 53m ²	円 572,000	R 3. 5.26	R 3. 6.18	

(ウ) 送水管布設替改良工事

工事件数 1 件 送水管延長 105.9 m

工事費 5,038,000 円

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工	年月日	備 考
令和 3 年度 中北山送水管改良工事	PE 30 L= 104.3m SUS 40 L= 1.6m 仕切弁 30 2基	円 5,038,000	R 3. 7.29	R 3.10.14	

HPPE	水道配水用ポリエチレン管	HIVP	耐衝撃性硬質塩化ビニル管
DIP(K・GX・NS)	ダクタイル鋳鉄管	SGP	鋼管
SUS	ステンレス鋼管	PE	ポリエチレン管
GNGW	凍結防止用アラミドがい装ポリエチレン管		

イ 配水設備改良工事

(ア) 配水管付属設備等改良工事

工事件数 8 件

工事費 35,310,000 円

工事名	工事内容	工事費	着工 竣工	年月日	備考
令和3年度 和泉橋減圧弁取替工事	減圧弁取替工事 一式 ・減圧弁 100×1基 ・ストレーナ 100×1基	円 3,025,000	R	3. 5.10	
				3.10.29	
令和3年度 埴原北減圧弁取替工事	減圧弁取替工事 一式 ・減圧弁 75×1基 ・ストレーナ 75×1基	3,080,000	R	3. 8.17	
				3.11.30	
令和3年度 塩倉減圧弁取替工事	減圧弁取替工事 一式 ・減圧弁 75×1基 ・ストレーナ 75×1基	3,080,000	R	3. 8.17	
				3.12.17	
令和3年度 坂下減圧弁取替工事	減圧弁取替工事 一式 ・減圧弁 75×1基 ・ストレーナ 75×1基	2,970,000	R	3. 8.20	
				4. 2. 2	
令和2年度 桔梗大橋水管橋浸食 防止工事	現場打設根固工 ・布製型枠 32基 ・水中コンクリート 31m ²	21,593,000	R	3. 1.27	繰越
				3. 5.26	
100万円未満工事 3件		1,562,000	R	3. 5. 9	
				4. 2. 9	

(イ) 道路改良工事等他事業工事に伴う配水管布設替工事

工事件数 20 件 配水管延長 1,299.5 m

工事費 157,885,233 円 消火栓設置数 5 基

工事名	工事内容	工事費	着工 竣工	年月日	備考
令和3年度 (主)塩尻鍋割穂高線(今村橋) 改良工事に伴う配水管布設替工事	SUS 100 L= 138.0m	円 46,563,000	R	3. 5.24	
				4. 2.21	
令和3年度 県道兎川寺鎌田線(中条工区) 工事に伴う配水管布設替工事	DIP-GX 250 L= 25.5m HPPE 100 L= 99.7m HPPE 75 L= 24.3m 仕切弁 100 2基	10,560,000	R	3. 5.25	
				3.11.30	
令和3年度 市道7003号線改良工事に伴う 配水管布設替工事	HPPE 100 L= 62.9m	10,296,000	R	3. 6.15	
				4. 1.21	
令和3年度 (都)内環状北線改良工事に伴う 配水管布設替工事	DIP-GX 200 L= 10.1m DIP-GX 100 L= 23.0m 仕切弁 200 1基 仕切弁 100 1基	4,994,000	R	3.10.21	
				4. 3. 7	

工 事 名	工 事 内 容			工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
令和3年度 青島第2マンホールポンプ場改築 工事に伴う配水管布設替工事	DIP-K	100	L= 10.0m	1,144,000	円	
					R 3. 9.21	
					R 3.10.29	
令和3年度 国道19号改良工事に伴う 配水管布設替工事	小口径泥土圧推進 DIP-GX	700 250	L= 23.7m L= 31.2m	15,884,000	R 4. 1.26	R3~R4 債務負担行為 全体工事費 39,710,000
					R 4. 9.30	
令和3年度 丸の内排水区雨水幹線整備 工事に伴う配水管布設替工事	DIP-K	150	L= 5.6m	1,155,000	R 4. 2. 4	
					R 4. 3. 8	
令和3年度 県道矢室明科線改良工事に伴う 配水管布設替工事	消火栓(地下式)		1基	1,188,000	R 3. 6.28	
					R 3. 7.27	
令和3年度 市道下小瀬農協線道路改良工事 に伴う配水管布設替工事	消火栓(地下式)		1基	1,056,000	R 4. 2.25	
					R 4. 3.25	
令和3年度 市道大野川12号線ワサビ沢1号橋 補修工事に伴う配水管布設替工事	GNGW HPPE	100 100	L= 19.1m L= 6.2m	10,879,000	R 3. 8.30	
					R 4. 1.5	
令和2年度 (都)宮淵新橋上金井線改良工事 に伴う配水管布設替その2工事	DIP-K HPPE 仕切弁 消火栓(地下式)	250 150 150	L= 1.4m L= 132.3m 1基 1基	9,231,233	R 2.12. 3	繰越
					R 4. 2.28	
令和2年度 中段幹線バイパス管新設工事 に伴う配水管布設替工事	HPPE DIP-K 仕切弁 消火栓(地下式)	75 75 75	L= 178.5m L= 1.7m 9基 1基	14,663,000	R 3. 3.16	繰越
					R 3.12.10	
令和2年度 街路事業(都)松本駅北小松線 改良工事に伴う配水管布設替工事	HPPE 仕切弁 仕切弁	100 100 75	L= 195.4m 4基 2基	10,901,000	R 2.10.29	繰越
					R 4. 2. 9	
令和2年度 (主)塩尻鍋割穂高線改良工事に伴う 配水管布設替工事	HPPE 仕切弁	75 75	L= 269.4m 8基	15,026,000	R 2. 9.25	繰越
					R 3.10.22	
100万円未満工事 6件	DIP-K HPPE 仕切弁 消火栓移設 DIP-A閉塞 管防護工事	75 50 100 100	L= 15.2m L= 50.0m 1基 1基 1力所 1式	4,345,000	R 3. 5.14	
					R 4. 3.28	

(ウ) 舗装本復旧負担金

工事件数 1 件
工事費 2,761,000 円

工事名	工事内容	工事費	着工 竣工年月日	備考
令和3年度 公共下水道井川城圧送管布設 に伴う舗装本復旧工事負担金	舗装本復旧 A= 338m ²	円 2,761,000	R 3. 7.26	
			R 3.12.21	

(エ) 配水地、加圧所施設等改良工事

工事件数 7 件
工事費 111,694,000 円

工事名	工事内容	工事費	着工 竣工年月日	備考
令和3年度 和泉第3減圧槽 水位調整弁等更新工事	減圧槽水位調整弁等更新 一式 ・水位調整弁更新 ・仕切弁更新 ・開閉台更新 ・仮設減圧槽設置、撤去	円 12,100,000	R 3. 6. 1	
			R 3.11.17	
令和3年度 和泉第3減圧槽内外装 改修工事	減圧槽内外装改修工 一式 ・減圧槽内装改修 ・減圧槽外装改修	3,410,000	R 3. 6. 2	
			R 3.10. 6	
令和3年度 橋倉配水地設備改良工事	配水地設備改良 一式 ・計装盤更新 ・引込計器盤更新 ・配水流量計更新 ・水位計更新	12,980,000	R 3. 7. 7	
			R 4. 1.24	
令和3年度 伊深第1・第2加圧所 流量計更新工事	加圧所流量計更新 一式 ・送水流量計更新	10,164,000	R 3. 8.12	
			R 4. 1.24	
令和3年度 伊深第1配水地 遠方監視制御装置更新工事	遠方監視制御装置更新 一式 ・伊深第1加圧所～伊深第1配水地 ・伊深第1配水地～伊深第2配水地	6,875,000	R 3. 7.21	
			R 3.12.14	
令和3年度 四賀地区 大沢減圧槽改修工事	減圧槽改修 一式 ・減圧槽補強工 ・減圧槽内装改修 ・構内配管更新	63,085,000	R 3. 5.26	
			R 4. 2.21	
令和3年度 安曇地区 稲核配水地水質計器更新工事	水質計器更新 一式 ・残留塩素計更新	3,080,000	R 3. 7.20	
			R 4. 3.22	

(オ) 配水管布設替改良工事

工事件数 8 件 配水管延長 876.0 m
 工事費 163,999,000 円 消火栓設置数 5 基

工 事 名	工 事 内 容			工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
令和3年度 第2次配水本管(2工区) 耐震化工事	HPPE	75	L= 3.0m	円 4,213,000	R 3. 7.28	全体工事費 61,809,000
	HPPE	50	L= 186.9m		R 4. 3.16	
	仕切弁	50	2基			
	消火栓(地下式)		1基			
令和3年度 第2次配水本管(3-1工区) 耐震化工事	HPPE	150	L= 184.7m	26,422,000	R 3. 7.30	全体工事費 121,649,000
	DIP-K	150	L= 1.0m			
	仕切弁	150	2基		R 4. 3.16	
	仕切弁	100	1基			
	仕切弁	75	3基			
	仕切弁	50	1基			
消火栓(地下式)		2基				
令和3年度 寿小池配水管改良に伴う 舗装本復旧工事	舗装本復旧		A= 1,339m ²	8,789,000	R 3.10.18	
					R 4. 1.28	
令和3年度 新村地区配水管改良に伴う 舗装本復旧工事	舗装本復旧		A= 148m ²	4,389,000	R 3.10.21	
					R 4. 1. 5	
令和3年度 保福寺橋添架管改良工事	HPPE	75	L= 21.0m	12,188,000	R 3. 9.22	
					R 4. 3.11	
令和3年度 低区配水地送水管改良工事に 伴う舗装本復旧その2工事	舗装本復旧		A= 2,652m ²	15,697,000	R 3. 8.26	全体工事費 25,729,000
					R 4. 1.11	
令和2年度 蟻ヶ崎3丁目配水管 改良工事	DIP-GX	300	L= 147.8m	91,333,000	R 3. 3.25	繰越
	DIP-GX	150	L= 254.9m			
	HPPE	150	L= 76.7m		R 3.11.29	
	仕切弁	300	2基			
	仕切弁	150	9基			
	仕切弁	100	1基			
	仕切弁	75	5基			
消火栓(地下式)		2基				
100万円未満工事 1件	舗装本復旧		A= 72m ²	968,000	R 3.11. 5	
					R 4. 3. 8	

(カ) 基幹管路耐震化工事

工事件数 4 件
工事費 289,399,000 円

配水本管延長 500.9 m

工事名	工事内容	工事費	着工 竣工	年月日	備考
令和3年度 第2次配水本管(8工区)耐震化 に伴う舗装本復旧工事	舗装本復旧 A= 770m ²	円 6,490,000	R 3. 6.17 R 3. 9.21		全体工事費 9,152,000
令和3年度 第2次配水本管(1-1工区) 耐震化工事	小口径泥土圧推進 700 L= 64.6m DIP-PN 500 L= 66.2m DIP-NS 500 L= 26.6m DIP-K 200 L= 9.7m 仕切弁 500 1基 仕切弁 200 1基	134,277,000	R 3. 7.28 R 4. 3. 7		
令和3年度 第2次配水本管(2工区) 耐震化工事	DIP-NS 500 L= 204.2m	55,495,000	R 3. 7.28 R 4. 3.16		全体工事費 61,809,000
令和3年度 第2次配水本管(3-1工区) 耐震化工事	DIP-NS 350 L= 3.5m DIP-NS 450 L= 200.4m 仕切弁 450 2基	93,137,000	R 3. 7.30 R 4. 3.16		全体工事費 121,649,000

(キ) 施設耐震化工事

工事件数 4 件
工事費 405,515,000 円

工事名	工事内容	工事費	着工 竣工	年月日	備考
令和2年度 藤井減圧槽耐震補強工事	減圧槽耐震補強工 一式 ・構内配管布設替工 ・流量調整弁設置 ・減圧槽改修工	円 86,339,000	R 2. 6.30 R 4. 2.25		R2~R3 債務負担行為 全体工事費 169,598,000
令和2年度 岡田第2配水地耐震 補強工事	配水地耐震補強工 一式 ・配管耐震補強工 ・防護コンクリート設置工 ・緊急遮断弁設置工 ・躯体改修工	128,491,000	R 2. 7.17 R 4. 3.16		R2~R3 債務負担行為 全体工事費 335,500,000
令和2年度 茶臼山配水地耐震補強工事	配水地耐震補強工 一式 ・場内配管布設替、耐震補強工 ・防護コンクリート設置工 ・躯体改修工	98,318,000	R 2. 7.20 R 4. 2.15		R2~R3 債務負担行為 全体工事費 197,021,000
令和3年度 並柳第1配水地耐震 補強工事	配水地耐震補強工 一式 ・場内配管布設替、耐震補強工 ・防護コンクリート設置工	92,367,000	R 3. 6.17 R 4. 3. 9		

(ク) 老朽配水管改良工事

工事件数 9 件
 工事費 129,283,000 円

配水管延長 972.5 m
 消火栓設置数 6 基

工 事 名	工 事 内 容			工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
令和3年度 旭2丁目老朽配水管 改良工事	HPPE	150	L= 47.4m	円 42,317,000	R 3. 6.15	
	HPPE	100	L= 219.5m			
	HPPE	75	L= 234.5m			
	仕切弁	150	4基			
	仕切弁	100	4基			
	仕切弁	75	8基			
	消火栓 (地下式)		3基			
令和3年度 第2次配水本管 (8工区) 耐震化 に伴う舗装本復旧工事	舗装本復旧 A= 315 m ²			2,662,000	R 3. 6.17	全体工事費 9,152,000
					R 3. 9.21	
令和3年度 女鳥羽川老朽配水管 改良工事	DIP-NS-E	100	L= 234.0m	17,204,000	R 3. 7.27	
	消火栓 (地下式)		2基		R 4. 3.17	
令和3年度 地蔵川老朽配水管改良工事	DIP-NS-E 100 L= 23.5m			2,266,000	R 3.10. 1	
					R 4. 3.28	
令和3年度 宮淵3丁目配水管改良工事	DIP-K	75	L= 11.7m	7,051,000	R 4. 1.19	
	仕切弁	75	1基			
	仕切弁	100	1基		R 4. 3.16	
令和2年度 女鳥羽川老朽配水管改良 に伴う舗装本復旧工事	舗装本復旧 A= 392m ²			8,536,000	R 3. 3.17	繰越
					R 3. 6. 7	
令和2年度 城山宮淵老朽配水管 改良工事	DIP-GX 300 L= 43.0m			26,928,000	R 2.12.16	繰越
					R 3. 4.26	
令和2年度 北深志1丁目老朽配水管 改良工事	HPPE	150	L= 33.7m	21,989,000	R 3. 3.22	繰越
	HPPE	100	L= 125.2m			
	仕切弁	150	1基			
	仕切弁	100	4基			
	仕切弁	75	1基			
	仕切弁	50	1基			
	消火栓 (地下式)		1基			
100万円未満工事 1件	舗装本復旧 A= 20m ²			330,000	R 3. 7.15	
					R 3. 8.23	

(ケ) 下水道管等移設補償費

工事件数 1 件

工事費 1,797,000 円

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
令和3年度 第2次配水本管(3-1工区) 耐震化工事に伴う ガス管移設工事補償費	ガス管移設補償費 ポリエチレン管 100 L= 15.7m	円 1,797,000	R 3. 9.14	
			R 3.12.27	

ウ 浄水設備改良工事

工事件数 11 件

工事費 450,329,000 円

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
令和3年度 四賀地区 水上浄水場設備改良工事	浄水場設備改良 一式 ・送水流量計更新 ・配水流量計更新 ・薬品注入設備更新 ・水質計器更新	円 42,900,000	R 3. 5.25	
			R 3.12.10	
令和3年度 四賀地区 月沢・金山浄水場 膜供給水流量計更新工事	流量計更新 一式 ・膜供給水流量計更新	3,520,000	R 3. 6.14	
			R 3.10.29	
令和3年度 梓川地区 金松寺浄水場 遠方監視制御装置取替工事	遠方監視制御装置更新 一式 ・金松寺浄水場～松本市上下水道局	26,400,000	R 3. 7. 7	
			R 4. 1.28	
令和3年度 梓川地区 小室浄水場 配水流量計更新工事	流量計更新 一式 ・配水流量計更新	7,590,000	R 3. 6.22	
			R 3.12.14	
平成31年度 波田地区 遠方監視制御設備更新工事	遠方監視制御設備更新 一式 ・松本市上下水道局 ・波田地区 男女沢第2浄水場 他全4か所	176,352,000	R 1. 6.10	R1～R3 債務負担行為 全体工事費 300,300,000
			R 3.12. 7	
令和3年度 波田地区 男女沢第2浄水場凝集沈殿池 排水貯留槽築造工事	排水貯留槽築造 一式 ・排水貯留槽築造 ・構内排水管布設	60,841,000	R 3. 5.26	
			R 4. 2.28	
令和3年度 波田地区 男女沢第2浄水場凝集沈殿池 排水設備改良工事	排水設備改良 一式 ・沈殿池排泥弁改良 ・室内配管更新 ・排泥弁制御盤設置 ・沈殿池排水ポンプ設置	60,500,000	R 3. 5.25	
			R 4. 2.18	

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
令和3年度 波田地区 男女沢第1浄水場 浄水設備改良工事	浄水設備改良 一式 ・緩速攪拌機、急速攪拌機更新 ・インバータ盤設置 ・水質計器更新	円 42,416,000	R 3. 6.16	
			R 4. 3.22	
令和3年度 安曇地区 島々浄水場 薬注設備更新工事	薬注設備更新 一式 ・次亜塩素注入設備更新 ・苛性ソーダ注入設備更新 ・PAC注入設備更新	11,000,000	R 3. 6. 1	
			R 3.11.19	
令和3年度 奈川地区 入山浄水場設備改良工事	浄水場設備改良 一式 ・緊急用小型浄水装置設置	15,620,000	R 3. 6.16	
			R 3.12.10	
令和3年度 奈川地区 川浦滅菌機室 水質計器更新工事	水質計器更新 一式 ・残留塩素計更新	3,190,000	R 3. 5. 6	
			R 3. 9.17	

(2) 建設工事の概況

ア 配水設備新設工事

(ア) 配水設備新設工事

工事件数 4 件
 工事費 3,850,000 円

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
会田簡易流量計ボックス 設置 工 事	流量計ボックス設置 一式	円 1,122,000	R 4. 1. 6	
	1号マンホール 1基		R 4. 3.24	
100万円未満工事 3件		2,728,000	R 3.11.24	
			R 4. 3.23	

(イ) 消火栓新設工事

工事件数 7 件
 工事費 5,206,300 円
 消火栓設置数 4 基

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
令和3年度 今井消火栓設置工事	消火栓 (地下式) 1基	円 1,012,000	R 3. 5.11	
			R 3. 6. 4	
令和3年度 梓川消火栓設置工事	消火栓 (地上式) 1基	1,243,000	R 4. 2.22	
			R 4. 3.18	
100万円未満工事 5件	消火栓 (地下式) 2基	2,951,300	R 3. 3.16	繰越 1件
	消火栓 (地下式) 移設 1基 舗装本復旧 54m ²		R 4. 3.16	

(3) 保存工事の概況

ア 原水及び浄水費施工工事

工事件数 5 件
工事費 2,112,000 円

工事名	工事内容	工事費	着工年月日	備考
100万円未満工事 5件		円 2,112,000		

イ 送水費施工工事

工事件数 4 件
工事費 3,158,100 円

工事名	工事内容	工事費	着工年月日	備考
旧埴原水源地漏水修理工事	構内漏水修理 一式	円 1,155,000	R 3. 6.15	
			R 3. 6.30	
埴原水源地排水管布設工事	排水管布設 一式	1,210,000	R 4. 3. 8	
			R 4. 3.18	
100万円未満工事 2件		793,100		

ウ 配水費施工工事

工事件数 42 件
工事費 15,787,200 円

工事名	工事内容	工事費	着工年月日	備考
並柳第2配水地 階段設置工事	階段設置 一式	円 1,298,000	R 4. 2. 4	
			R 4. 3.24	
給配水管及び弁栓類 維持管理工事 29件	弁栓類取替及び調整工事 13件 分水栓清掃及び給水管取替工事 4件 止水栓取替工事 12件	9,572,200	R 3. 4.24	
			R 4. 3.31	
100万円未満工事 12件	倒木処理 一式 階段設置 一式 減圧層修繕 一式	4,917,000		

工 漏水防止費施工工事

工事件数 178 件

工事費 101,938,067 円

工 事 名	工 事 内 容		工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考	
他 事 業 関 連 14件	給水管	20	32力所 6力所	円 14,911,567	R 2. 9.25	繰越 4件
		25			R 4. 3.16	
配 水 管 改 良 関 連 給 水 管 取 替 工 事 8件	給水管	20	138力所 19力所	34,881,000	R 2.12.16	繰越 1件
		25			R 4. 3.17	
給配水管漏水修理工事 155件	配水管漏水修理工事 給水管漏水修理工事		13件 142件	51,914,500	R 3. 4.16	
					R 4. 3.29	
給水管等移設工事 1件	不明水栓撤去工事		1件	231,000	R 3.11.11	
					R 3.12. 8	

(4) 庁舎整備工事の概況

工事件数 3 件

工事費 16,797,000 円

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工年月日 竣工	備 考
松本市上下水道局 水質検査室 局所排気装置改修工事	局所排気装置工事 一式	円 15,180,000	R 3. 7.30	
			R 4. 1.31	
100万円未満工事 2件	局舎南側バードレスマット設置工事 一式 水質検査室照明器具LED化工事 一式	1,617,000	R 3. 4.19	
			R 4. 3.18	

3 業 務

(1) 業務量

ア 水源地・配水地における業務量

区 分		給 水 量			電 力 使 用 量	塩 素 注 入 量	
		m ³ / 年	m ³ / 日	比率	kwh / 年	kg / 年	
松本地区	松塩水道用水	茶白山配水地	2,878,603	7,887	11.4%		
		妙義配水地	4,087,941	11,200	16.2%		
		藤井配水地	1,523,115	4,173	6.1%		
		並柳配水地	5,893,011	16,145	23.5%		
		寿配水地	4,590,491	12,576	18.2%		
		松原配水地	1,191,986	3,266	4.7%		
		今井第1配水地	402,516	1,103	1.6%		
		今井第2配水地	2,216,089	6,071	8.8%		
	小計	22,783,752	62,421	90.5%			
	自己水源	島内第1水源地	518,440	1,421	2.2%	194,248	239
		島内第2水源地	329,291	902	1.3%	149,907	196
		源地水源地	141,252	387	0.6%	75,137	75
		芳野町第2水源地	510,422	1,398	2.0%	194,402	233
		大久保第1水源地	436,074	1,195	1.7%	272,616	332
		大久保第2水源地	436,460	1,196	1.7%	75,738	
		三城浄水場	8,860	24	0.0%	32,264	24
		小計	2,380,799	6,523	9.5%	994,312	1,099
合計	25,164,551	68,944	100.0%	994,312	1,099		
四賀地区	自己水源	太ノ田浄水場	1,354	4	0.3%	3,494	1
		月沢・金山浄水場	447,206	1,225	80.3%	146,274	256
		大沢浄水場	70,395	193	12.7%	36,092	80
		水上浄水場	37,154	102	6.7%	29,613	106
		合計	556,109	1,524	100.0%	215,473	443
梓川地区	自己水源	金松寺浄水場	43,922	120	2.5%	40,798	38
		小室浄水場	420,445	1,151	24.1%	47,800	676
		横沢水源地	399,644	1,095	22.9%	222,347	169
		南大妻第1水源地	219,089	600	12.7%	223,257	98
		南大妻第2水源地	217,779	597	12.6%	79,994	95
		乗鞍水源	24,447	67	1.4%	61,122	31
		番所水源	109,180	299	6.3%	20,116	45
		イラクボ沢水源	52,521	144	3.0%	4,480	22
		稲核水源	47,864	131	2.7%	24,641	24
		島々浄水場	49,108	135	2.8%	19,762	56
		木曾路原浄水場	19,549	54	1.1%	31,881	33
		川浦水源	2,165	6	0.1%	2,376	1
		保平浄水場	16,328	45	0.9%	12,191	17
		寄合渡浄水場	109,028	299	6.3%	17,583	50
		駒ヶ原浄水場	8,922	24	0.5%	24,020	9
入山浄水場	2,252	6	0.1%	5,789	5		
合計	1,742,243	4,773	100.0%	838,157	1,369		
波田地区	自己水源	男女沢第1浄水場	1,548,564	4,242	99.3%	195,925	864
		男女沢第2浄水場					
		竜島浄水場	4,978	14	0.3%	10,983	6
		中下原浄水場	6,825	19	0.4%	10,645	8
		合計	1,560,367	4,275	100.0%	217,553	878
全地区合計		29,023,270	79,516		2,265,495	3,789	

イ 給水業務

(ア) 給水量内訳

区 分	給水量 (A)	有 効 水 量			無効水量	有効率 (B)/(A)	有収率 (C)/(A)
		総 数 (B)	有収水量 (C)	無収水量			
令和3年度	29,023,270	26,163,651	25,402,162	761,489	2,859,619	90.1	87.5
令和2年度	29,873,425	26,320,146	25,558,768	761,378	3,553,279	88.1	85.6
比較増減	850,155	156,495	156,606	111	693,660	2.0	1.9

(イ) 用途別有収水量

区 分	総 数	一般用	浴場営業用	臨時用	共 用	分水用
令和3年度有収水量 (m ³)	25,402,162	25,373,015	25,227	69	0	3,851
構 成 比 (%)	100.0	99.9	0.1	0.0	0.0	0.0
令和2年度有収水量 (m ³)	25,558,768	25,533,844	21,410	59	0	3,455
比 較 増 減	156,606	160,829	3,817	10	0	396

(ウ) 普及状況

区 分	行政区域内 (A)		計画給水区域内 (B)		現在給水 (C)		普 及 率			
							(C)/(A)		(C)/(B)	
	戸 数	人 口	戸 数	人 口	戸 数	人 口	戸 数	人 口	戸 数	人 口
令和3年度	107,518	236,345	107,324	235,979	107,047	235,336	99.6	99.6	99.7	99.7
令和2年度	107,069	237,484	106,878	237,116	106,593	236,446	99.6	99.6	99.7	99.7
比較増減	449	1,139	446	1,137	454	1,110	0.0	0.0	0.0	0.0

(エ) 給水柱数・戸数・人口

区 分	給 水 柱 数			給 水 戸 数			給 水 人 口		
	令和3年度	令和2年度	増 減	令和3年度	令和2年度	増 減	令和3年度	令和2年度	増 減
総 数	117,254	116,029	1,225	107,047	106,593	454	235,336	236,446	1,110
一般用	117,232	116,006	1,226	107,032	106,577	455	235,294	236,404	1,110
浴場営業用	15	16	1	15	16	1	42	42	0
臨時用	2	2	0	-	-	-	-	-	-
共 用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分水用	5	5	0	-	-	-	-	-	-

(2) 事業収入に関する事項

科 目	金 額	構成比	前年度金額	前年度比	備 考
	円	%	円	%	
水道事業収益	5,016,522,636	100.0	5,062,639,929	99.1	有収水量 1 m ³ 当たりの 水道料金 162円62銭
営業収益	4,403,391,699	87.8	4,429,209,460	99.4	
給水収益	4,130,826,562	82.3	4,145,179,148	99.7	
受託工事収益	24,346,400	0.5	25,507,982	95.4	
分担金及び負担金	240,083,799	4.8	250,234,323	95.9	
その他営業収益	8,134,938	0.2	8,288,007	98.2	
附帯事業収益	20,519,510	0.4	21,119,032	97.2	
売電事業収益	20,519,510	0.4	21,119,032	97.2	
営業外収益	591,412,519	11.8	609,675,886	97.0	
受取利息及び配当金	3,754,385	0.1	4,536,725	82.8	
他会計補助金	28,188,465	0.6	31,965,362	88.2	
長期前受金戻入	553,702,754	11.0	571,726,273	96.8	
その他雑収益	5,766,915	0.1	1,447,526	398.4	
特別利益	1,198,908	0.0	2,635,551	45.5	
固定資産売却益	288,908	0.0	1,513,021	19.1	
過年度損益修正益	0	0.0	52,530	皆減	
その他特別利益	910,000	0.0	1,070,000	85.0	

(3) 事業費に関する事項

科 目	金 額	構成比	前年度金額	前年度比	備 考
	円	%	円	%	
水道事業費用	4,827,780,961	100.0	4,847,783,334	99.6	
営業費用	4,675,145,394	96.8	4,676,349,033	100.0	
原水及び浄水費	108,502,156	2.2	95,119,190	114.1	
送水費	1,400,415,758	29.0	1,393,195,918	100.5	
配水費	189,283,844	3.9	192,663,416	98.2	
漏水防止費	404,352,512	8.4	389,404,447	103.8	
量水器費	79,048,502	1.6	85,906,496	92.0	
受託工事費	13,320,669	0.3	12,907,461	103.2	
業務費	261,810,661	5.4	270,638,506	96.7	有収水量 1 m ³ 当たりの 給水原価
総係費	155,425,958	3.2	215,361,235	72.2	167円23銭
減価償却費	2,023,323,842	42.0	1,989,881,801	101.7	
資産減耗費	39,661,492	0.8	31,270,563	126.8	
附帯事業費用	10,059,921	0.2	10,045,990	100.1	
売電事業費用	10,059,921	0.2	10,045,990	100.1	
営業外費用	139,900,877	2.9	158,101,386	88.5	
支払利息及び企業債 取扱諸費	124,350,605	2.6	141,464,454	87.9	
雑支出	15,550,272	0.3	16,636,932	93.5	
特別損失	2,674,769	0.1	3,286,925	81.4	
過年度損益修正損	2,674,769	0.1	3,286,925	81.4	

(4) その他主要な事項

該当なし

4 会 計

(1) 重要契約の要旨

契約年月日	契約金額	契 約 の 内 容	契 約 先
R 3. 4. 1	199,650,000	令和3年度 老朽給水管取替業務委託	松本市水道事業協同組合
R 3. 6. 3	212,300,000	令和3年度 島内第2水源地機械設備更新工事	伊東産業(株)
R 3. 6. 7	143,000,000	令和3年度 島内第2水源地電気設備更新工事	共同電気工業(株)
R 3. 7.28	130,020,000	令和3年度 第2次配水本管 (1 - 1工区) 耐震 化工事	(株)水建
R 3. 7.30	114,400,000	令和3年度 第2次配水本管 (3 - 1工区) 耐震 化工事	ルピナ中部工業(株)
R 3. 8.30	124,850,000	令和3年度 開智3丁目・北深志1丁目老朽配水 管改良工事	ルピナ中部工業(株)
R 3.10. 4	169,973,100	上下水道料金システム構築及び賃貸借	富士通 J a p a n(株)
R 3.10. 7	135,850,000	令和3年度 本庄・深志老朽配水管改良工事	(株)水建

(2) 企業債同意額及び借入状況

ア 令和3年度企業債の借入状況は次のとおりです。

ア) 建設企業債

a 企業債同意及び借入状況

事 業 名	同 意 額	同 意 年 月 日	借入先及び借入金額	借入年月日	備 考
上水道事業	千円 令和2年度同意 711,100	R2. 9.30 2市町村第472号 R3. 3.23 2市町村第875号	地方公共団体金融機構 44,700千円	R 4. 3.24	R2年度 起債繰越分
上水道事業	726,300	R3. 9.30 3市町村第483号 R4. 3.22 3市町村第839号	地方公共団体金融機構 609,900千円 (残額116,400千円はR4年度借入予定)	R 4. 3.24	不用額 56,100千円

b 借入条件

借 入 先	利 率	償還方法	償還期日	償 還 終 期	備 考
地方公共団体 金 融 機 構 (令和2年度起債繰越分)	0.700%	半年賦元利均等 30年償還 (内5年据置)	毎年9月20日 3月20日	R34. 3.20	借入額 44,700千円
地方公共団体 金 融 機 構	0.700%	半年賦元利均等 30年償還 (内5年据置)	毎年9月20日 3月20日	R34. 3.20	借入額 609,900千円

イ 令和3年度の企業債償還状況は次のとおりです。

借入先	借入 総件数	償還元金		支払利息		合計
		該当件数	金額	該当件数	金額	
	件	件	円	件	円	円
財務省財政融資資金	79	79	427,804,404	79	62,102,393	489,906,797
地方公共団体金融機構	78	70	308,510,905	76	62,248,212	370,759,117
合計	157	149	736,315,309	155	124,350,605	860,665,914

(注1) 企業債借入総件数157件のうち、償還元金については8件が据置期間内であり、支払利息については2件が令和4年度以降支払いとなるため、当年度の支払いはありません。

5 附帯事項

(1) 給水工事の概況

ア 修理及び維持管理件数

区 分	公 道 部 分		宅 地 内 部 分		合 計
	無 料	有 料	無 料	有 料	
上下水道局	80 件	3 件	54 件	6 件	143 件

イ 量水器の取扱について

新設開栓	再 開 栓	口径変更	取 替	合 計
968 件	126 件	71 件	13,670 件	14,835 件

ウ 取替の内訳

区 分	直 営	委 託 等	合 計
検 定 満 了	0 件	13,650 件	13,650 件
故 障 等	20 件	0 件	20 件
合 計	20 件	13,650 件	13,670 件

6 その他

(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当なし

(2) その他

該当なし

